

インモールド・ラベル、カップふた材の連続打抜き機 ラベルから紙器まで対応

積載シートを連続加工

「BF 1000-10F」、「NC 110 Collect」を提供するのは、紙器機械の開発・製造で 60 年の歴史を持つイタリア AMC 社。80 年代から特に油圧式打抜き機の開発に力を入れており、ラベル・パッケージング業界で高く評価されている。

BF 1000-10F はインモールド・ラベルの打抜き現場で多くの実績を持つマシン。こうした包材の加工は従来、印刷されたシートを見当断ちシーターで大断ちした後、ギロチンカッターで小断ち、『ブッシュ抜き』と呼ばれる専用打抜き機で加工されることが多い。これに対して BF 1000-10F は、シートカッターから出てきたシートを小断ちすることなく、10~30 枚重ねて連続抜きを行う垂直プレス。打抜き前にジョーガー装置でシートを揃え、抜きカスは自動排出される機構で生産効率を高めている。生産速度は最大 14,000 枚/時。抜き型は通常のトムソン抜き型を使用し、ブッシュ用の型に比べ型代のコスト削減が可能。ラベルの収集、計数、台紙からの抜きカスの分離・廃棄までを自動で行う。



Fig.1 BF 1000-10F

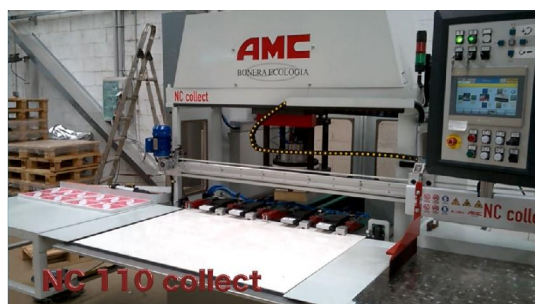


Fig.2 NC 110 Collect

NC 110 Collect は薄物のフィルムから板紙まで対応しており、アルミ箔にラミしたフタ材、カップラーメンやヨーグルトのフタ材に適している。最大ワークサイズは 750 × 1,000 mm。積載抜き厚さは最大 25mm。ストローク数は最大 60 ショット/分。ロータリーカッターで見当断ちしたシートを BF 1000-10F と同様にギロチン、ブッシュ抜き作業無しに、一貫作業が可能。製品は抜きカスと分離されて集積され、250 枚毎、もしくは 500 枚毎に取り出すことが可能。一人のオペレータで操作することを前提に設計されており、各操作は TFT ディスプレイパネルで管理する。



Fig.3 NC 110 Collect カス分離部